

熱中症のリスクを見える化して
安心できる
教育環境づくりをサポート。



熱中症のリスクは気温、湿度(しつど)、日射などから受ける熱で決まります。
中でも湿度(しつど)の影響が大きく、肌感覚では気づきにくいことがあります。

ダイキンの「熱中症対策システム」は、教室はもちろん、
運動場、体育館にもセンサーを設置し、熱中症のリスクをわかりやすく数値で表示。
状況によって、エアコンを自動運転したり、警戒レベルになると、光とブザーで知らせたりして、熱中症対策をバックアップします。

コロナ対応もあり、学校現場はより多くの課題をかかえています。
ダイキンは空気の状態を見える化する技術で、安心で、快適な教育環境づくりをサポートしています。

空気で答えを出す会社 